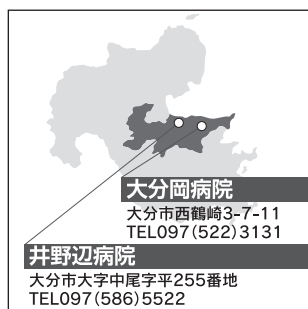


中部圏域 大分地域



大分岡病院

センター長 森 照明
人事部 長 坂本 修一
担当窓口 山田 康二
担当窓口 大塚 未来子
担当窓口 森田 年哉
担当窓口 毎床 秀朗
担当窓口 野上 可奈子
担当窓口 山本 麻由美
担当窓口 四井 佳奈
担当窓口 黒枝 貴洋
担当窓口 松上 裕

井野辺病院

センター長 井野邊 純一
担当窓口 佐藤 豊秀
担当窓口 佐藤 暁
担当窓口 岸本 周作
担当窓口 森田 有紀
担当窓口 後藤 直哉

1. 連絡協議会運用規定

(目的)

大分中部圏域における地域リハビリテーション支援体制を地域リハビリテーション支援センターと各団体が協力し合って推進していく為の協議機関として大分県地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会を設置する。

(構成)

会議の構成は以下の通りとする。

- 1) 中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター：センター長と実行委員会委員
- 2) 関係団体：各団体代表者（希望があれば同伴者2名以内可能とする）

(会議)

会議の開催は原則年1回とする。

- 1) 会議には議長・副議長を置く。議長は中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター実行委員長が努め、副議長は副実行委員長が務める。
- 2) 副議長は議長を補佐し、事故ある時はその職務を代行する。

附則：

この運用規定は2006年4月1日から施行する。

<連絡協議会委員名簿>

大分県地域リハビリテーション支援センター 大分県歯科医師会
全国パーキンソン病友の会大分県支部 大分県脊髄小脳変性症・多系統委縮症友の会
大分県理学療法士協会 大分県作業療法協会 大分県言語聴覚士協会
大分県栄養士会 大分市長寿福祉課 大分市保健所 大分県看護協会 大分県医療ソーシャルワーカー協会 大分県介護福祉士会 大分県地域リハビリテーション研究会 大分県歯科衛生士会 大分市居宅介護支援事業連絡協議会 大分県ホームヘルパー協議会 (順不同)

2. 事業報告

<地域リハビリテーション実施機関への支援>

ア 地域住民の相談への対応に係る支援

イ 福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援

年間相談件数：10件

<リハビリテーション施設の共同利用>

ア 共同利用調整件数 A

(リハが必要な住民のために利用調整を実施した場合) 2件

イ 協働利用調整件数 B

(研修会等リハ従事者のために利用調整を実施した場合) 33件

<連絡協議会>

日 時：2014年3月5日(水)

場 所：大分岡病院

<研修会>

①日 時：2013年11月24日(日) 10:00~12:00

場 所：大分県総合社会福祉会館 4階 大研修室

内 容：「自立支援を考える」

講 師：1部 講演「自立支援について～大分市の取り組み～」

生野裕子氏

(大分市長寿福祉課 保健師)

2部 シンポジウム

「認知症の在宅支援～医療介護連携の意味～」

医師 安部明夫氏

(安部第一医院 院長)

「公助から共助へ～住民の自立支援に向けた

コミュニティーワークの実践～」

ケアマネジャー 古賀周一郎氏

(介護福祉支援センター富士見が丘 代表)

「自立支援を考える～薬剤師としてできること～」

薬剤師 高木繁薫氏

(河野調剤薬局 王子支店 管理薬剤師)

参加者：97名

②日 時：2013年10月17日(木) 10:00~12:00

主 催：大分市コンパルホール

場 所：大分市コンパルホール

内 容：「養命大学～介護予防のお話と体操～」

対象者：大分市在住の 65 歳以上の高齢者

講師：生野裕子氏

(大分市長寿福祉課)

佐藤暁氏

(中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター)

参加者：約 200 名

③日 時：2014 年 2 月 2 日(日) 10:00～12:15

場 所：大分県医師会館 7 階 大会議室

内 容：「お口のお手入れと安全な食べ方」

講演：

講演 1 「お口の入口(口腔ケアの概論)」

講師 中島史郎氏(大分県歯科医師会)

講演 2 「お口のお手入れ(口腔ケアの実践)」

講師 友枝康代氏(大分県歯科衛生士会)

講演 3 「家庭で作れる介護食」

講師 衛藤寿恵氏(大分県栄養士会)

講演 4 「摂食・嚥下を見極めるポイント」

講師 佐藤俊彦氏(大分県言語聴覚士会)

講演 5 「誰でも行える呼吸リハビリテーション～摂食・嚥下場面について～」

講師 大嶋崇氏(大分県理学療法士協会)

参加者：59 名

3. 次年度へ向けた課題

(1) 研修会の開催

開催予定：年 3 回

「職種間連携を考える会(仮題)」

「お口のお手入れと安全な食べ方(仮題)」

「養命大学(仮題)」

(2) 地域包括支援センターとの連携強化

- ・地域特性を活かした研修会等の行事を協働で開催していく
- ・連携がとれていない箇所との連携
- ・地域リハビリ協力員養成の啓発活動

※圏域ごとの地域包括支援センター、保健所連絡先一覧(中部圏域)は P48に記載